

「校内卒業論文発表会を行いました」

12月15日（火）に「校内卒業論文発表会」を行いました。大学校では、将来の農業・農村を担うべき人材を育成することを目的として、農業経営の改善または農山村生活の向上に関する科学的技術及び知識の習得を目指し、農業経営実践学習（以下「プロジェクト学習」という。）を行っています。卒業論文はプロジェクト学習の集大成であり、学生は1年前から設計検討や調査研究を行い、発表原稿やパワーポイントの作成及び発表練習にも多くの時間をかけて取り組んできました。当日の発表会では、2年生22名が8分間の発表時間の中で、成果を発表しました。併せて、就農実践専攻の2名も4ヶ月の先進経営体実習先で学んだことや今後に生かしたいことについて発表しました。

また、1年生は司会、時計係として会を進行し、先輩の発表に対して質問事項、感想や自分が来年に向けてどのように取り組んでいきたいかをレポートにまとめました。

今回の発表会で高い評価を得た学生のうち2名は、1月19日に開催される中国四国ブロックプロジェクト発表会(今年度は高知県立農業大学校が担当でリモート開催)、1名が1月28日に備北バイオの里づくり推進協議会主催のバイオフィォーラム、7名が2月19日に庄原市ふれあいセンターで開催される本校の卒業論文公開発表会で発表することになりました。

